

静商に入ってくれて有難う！

校長 中澤 秀紀



準決勝での痛恨の敗戦から一週間、重圧の中での練習を通して心身ともに逞しさを増した選手たちは、3位決定戦で見事勝利し6年振りの東海大会出場を決めました。東海大会までの四週間も、緊張感と期待感の高まる中での練習で、更に大きく人間的な成長を遂げてくれると確信しています。

選手たちに言いたいことは、たった一つです。それは、「静商を選んでくれて有難う」「硬式野球部に入ってくれて有難う」「本気になって甲子園を目指して練習に取り組んでくれて有難う」…「有難う」だけです。このような若者がいる限り、静商は青春の芳香と輝きを放ち続けます。静商硬式野球部での濃い、とっても濃い3年間を過ごす若者たちは、我々応援する者のみならず、我々が想像する以上の多くの人たちに、希望と活力を与え続けてくれます。このような若者に対して、私は、感謝と敬意の念を抱かずにはいられません。

静商を選び、硬式野球部に入って、本気になって甲子園での勝利を目指してくれて、本当に有難う！

「高校野球」

静岡商業硬式野球部部长

外山 英美

日ごろは本校硬式野球部の活動にご理解、ご協力、ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

選手たちは、土日は一日中グラウンドで汗を流しますが、平日は6時間の授業を受けた後4～5時間の練習に取り組めます。私は商業科の教員ですので、教室で座学をする選手たちとも毎日顔を合わせます。一年生で入学間もない頃は、中学からの生活が激変したこともあり、授業中、臉の重い選手が目立ちますが、夏休みを過ぎたあたりから、高校野球をするのに十分な体力が付き、また長期休みの間に様々な事を「部」の活動で学び、目を一生懸命見開いて頑張る姿が見られるようになります。それは「静商硬式野球部」の一員であるという大きな自覚の芽生えだと感じています。2年生になると、下級生が入学してくることで、見本を見せる立場になり、あらゆる場面で判断をしなければならぬケースも増え、その経験により人間的な成長が顕著に見られるようになります。失敗してしまうこともあります。そして、3年生になり、選手権予選が始まるころになると、高校入学時とは見違えるほど心を安定させ、周りへの気遣いや配慮がプレーでも、また学校生活でもできるようになっていきます。

毎年、選手たちは三年間で確実に成長していきます。しかし、静商硬式野球部は、県内の高校野球をけん引する役目を持った、歴史と伝統のある部活動です。

そして現在、本校の男子生徒の20％程度をしめ、学校全体にも大きな影響を与える存在になっています。故に、学校生活で他の生徒の模範となることは大切なことであり、そう考えると、まだまだ足りないところが多いのかもしれない。今年度の秋季大会では東海大会まで駒を進めることができましたが、その先へは到達することができませんでした。できること、考えられることを一つひとつ実行していき、後援会、OB会また地域の皆様方に助けていただきながら、選手たちの夢、私たちの夢を、ぜひ現実にしていきたいと思ひます。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

応援を力にかえて

静岡商業硬式野球部副部长

小川 出

後援会の皆様には日頃から硬式野球部の活動に手厚い御支援、御指導をいただき、深く感謝します。

今、3年生は引退して3ヶ月、髪が伸び普通の高校生にもどりましたが、野球で培われた体躯と表情には、同級生とは別の揺るぎない自信を感じます。

野球部にとって今季は浮き沈みの多いシーズンでした。春季大会では久々の地区優勝で注目も集めましたが、夏の県大会シード抽選では、私学の集まる激戦ブロックに入り、さらに長雨で日程が過密化するなど、過酷な消耗戦となりました。

秋季大会では6年ぶりの東海4県出場を勝ち取りましたが、1球に泣いた準決勝、結果3位での東海参加は甘くなく、1回戦は予想外の試合展開となりました。偶然が試合を左右するのが、野球の厳しさ、おもしろさでもあります。それをこえて勝つのが実力です。今季の結果は静商野球の評価を高めました。同時に本校の弱点も周知されました。強豪校に勝つにはさらなる研鑽が必要です。シーズンオフには地味な強化練習が続きます。ぜひ、継続して御支援をお願いいたします。さて、私は静商2年目。大会ではもっぱら1年生部員とともにスタンドに陣取ります。スタンドには静商のオールドファンが多く、皆さん選手に詳しく、評論家のようにコメントしています。バリアフリーとは程遠い猛暑のスタンドが高齢者の憩いの場になっているのは高齢化社会の知られざる風景です（夏山も同じですが）。私は選手経験がないので、たぶん観客とレベルは同じだと思います。野球を知る？ため、BSの「球辞苑」や「ワースポMLB」など見ていますが、プロ選手

が戦術を徹底研究し、基本を徹底しているのは感心します。高校野球にはメジャー流の戦術や取組が影響しているようです。球児のあこがれる野球も変わってきているかもしれません。静商野球がこれからの生徒にとっても魅力的なものであつてほしいと思います。

「シーズンを振り返って」

静岡商業硬式野球部副部长

齋藤 孝之

日頃より静商硬式野球部への多大なるご声援、ご支援誠にありがとうございます。今年の4月より副部长として静商硬式野球部に携わることになりました齋藤孝之です。着任して早々、春季中部大会で優勝、同県大会ベスト8、シード校として臨んだ夏の選手権大会では県3位で東海大会出場と、私自身が高校野球の指導に携わってきた中で、何年かけてもなかなかなたどり着けなかった所を1年足らずの間で経験させていただき、改めて静商硬式野球部のレベルの高さを感じております。

東海大会では、力の差というよりは、経験の差で完敗でしたが、だからこそ、この経験を来年どう繋げていくかが、大切だと感じております。

高田監督や選手らとともに、間近に見えてきた聖地甲子園への出場に向けてチームが一九となれるよう、これから尽力していきたいと思ひます。

今後とも変わらぬご支援ご協力のほど、よろしくお願ひします。

コラム

先輩たちの偉大な功績

三宅 司

今、私の手元には「全国高校野球選手権大会（夏の甲子園大会）勝利数ランキング」という資料があります。静商は、17勝で48位です。ライバル静高は、22勝で28位です。ベスト50の中に入っている県内の高校は静商と静高だけです。

ここで注目すべきは、静高は出場回数24回で22勝23敗。我が静商は、出場回数9回で17勝9敗。なんと、静高の勝率4割8分9厘に対し、静商は6割5分3厘です。

静商は、甲子園大会に出場すると、必ず初戦をものにしています。

30年以上、甲子園から遠ざかっていたこともありましたが、勝利数ランキング全国48位というのは偉大な先輩方が築いた数字です。

ぜひ、来夏にはこの勝ち星をさらに増やして、ランキングをアップして頂きたいと切望いたします。

つたない文章ではありますが、静商硬式野球部を愛する気持ちは皆さんと同じです。

これからも、広報作成に携わっていききたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

新チームの一言

2年				1年			
相原大地	不撓不屈	今野貴斗	千射万箭	秋山朝飛	快打洗心	小松陸	万世不朽
阿野友貴	精神一到	杉山翔平	勇往邁進	飯田壮悟	粉骨碎身	曾根一輝	猛攻堅守
稲葉航	不斷節季	鈴木瞳吾	堅実強固	市川遥己	剛毅果斷	寺尾優太	惡戦苦闘
岡本聡馬	力戦奮闘	高田琢登	切磋琢磨	市野清治	後生大事	中澤大賀	初志貫徹
織田哉汰	走姿顕心	塚本理久	初志貫徹	大井朝日	一心一意	中山幸史朗	吾唯知足
勝亦起太	臥薪嘗胆	塚本礼史	一生懸命	大塚悠矢	獅子奮迅	東伯玖	勇往邁進
河村恭佑	捲土重来	對馬勇斗	勇猛果敢	岡村虎夢	戒驕戒躁	藁科卓巳	明鏡止水
甲野隆聖	日々前進	深澤歩夢	英姿颯爽	荻野大雅	臥薪嘗胆	マネージャー	
小林駿介	迅速果斷	山田侑莉	一心不乱	菊池翔空	破顔一笑	望月茉優	協心戮力
小林玲央	我夢者羅	渡辺彩世	初志貫徹	金原功宜	我武者羅	福地美穂	一味同心
				小西涼登	百戰錬磨	杉本大空	七転八起